

ルーミー/トール モデルスタバージョン

リヤスカート 取付要領書

(品番：MSD43-B1009(10)-** / D2641-52110-** / D2641-64910-**) 型式：M9#0A-GB## / M9#0S-GB##

グレード：全グレード

このたびは、モデルスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、リヤスカートの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行ってください。

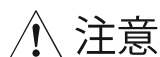
取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか確認して下さい。
- 車両が動かないよう、エンジンを切り、車止め等をして作業して下さい。
- 開梱時、同梱部材の有無、製品本体の不具合が無いか、取り付け前に確認して下さい。
- リヤスカートを取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へリヤスカートを取り付ける際は、**左右1名ずつ2名で作業**を行って下さい。また、仮組み等の際、マスキングテープ等で車両への傷つき防止対策を実施して下さい。
- 重要 ■ 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。取り付けが確実に行えます。(PAC プライマー N-200 を本品に同梱)
プライマーの効果を発揮させる為、塗布後、**常温で10分間以上放置**し乾燥させて下さい。
- 重要 ■ 両面テープは、外気温が**20℃以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行って下さい。
- 両面テープ用プライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープ用プライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗布面以外をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。(必ずマスキング、なるべく細かい番手で行って下さい。)
- ボディコートが塗布されている車両は、脱脂作業を行っても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。
ボディコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行って下さい。
- 重要 ■ 両面テープの圧着を充分に行って下さい。**49N (5kgf) 以上**
- 重要 ■ リヤバンパー下面部のクリップ本固定は、両面テープ貼り付け後、3時間以上放置後、行って下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

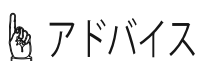
- リヤスカートが、車両に確実に装着されているか確認して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか確認して下さい。
- 取り付け完了後、リヤスカート及び車両部品に傷がついていないか確認して下さい。
- 取り付け完了後、**最低24時間**は強い力をかけたり、濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両とリヤスカートとの間に隙間が発生する恐れがあります。)

取付要領書には下記マークを使用しております。



注意

この取付は特に重要な項目です。必ず読んでお守り下さい。
守らないと傷害や事故につながるおそれがあります。



アドバイス

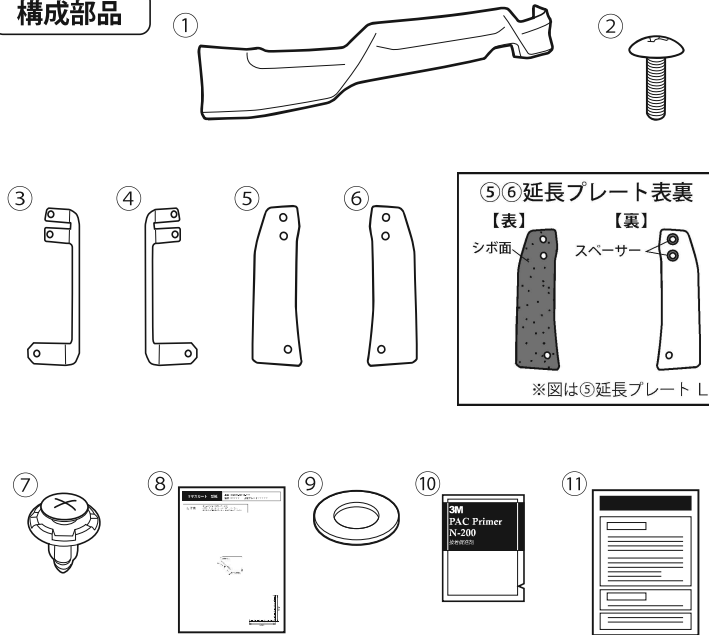
この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

ルーミー/トール モデリスタバージョン

リヤスカート

品番：MSD43-B1009(10)-** / D2641-52110-**
D2641-64910-**

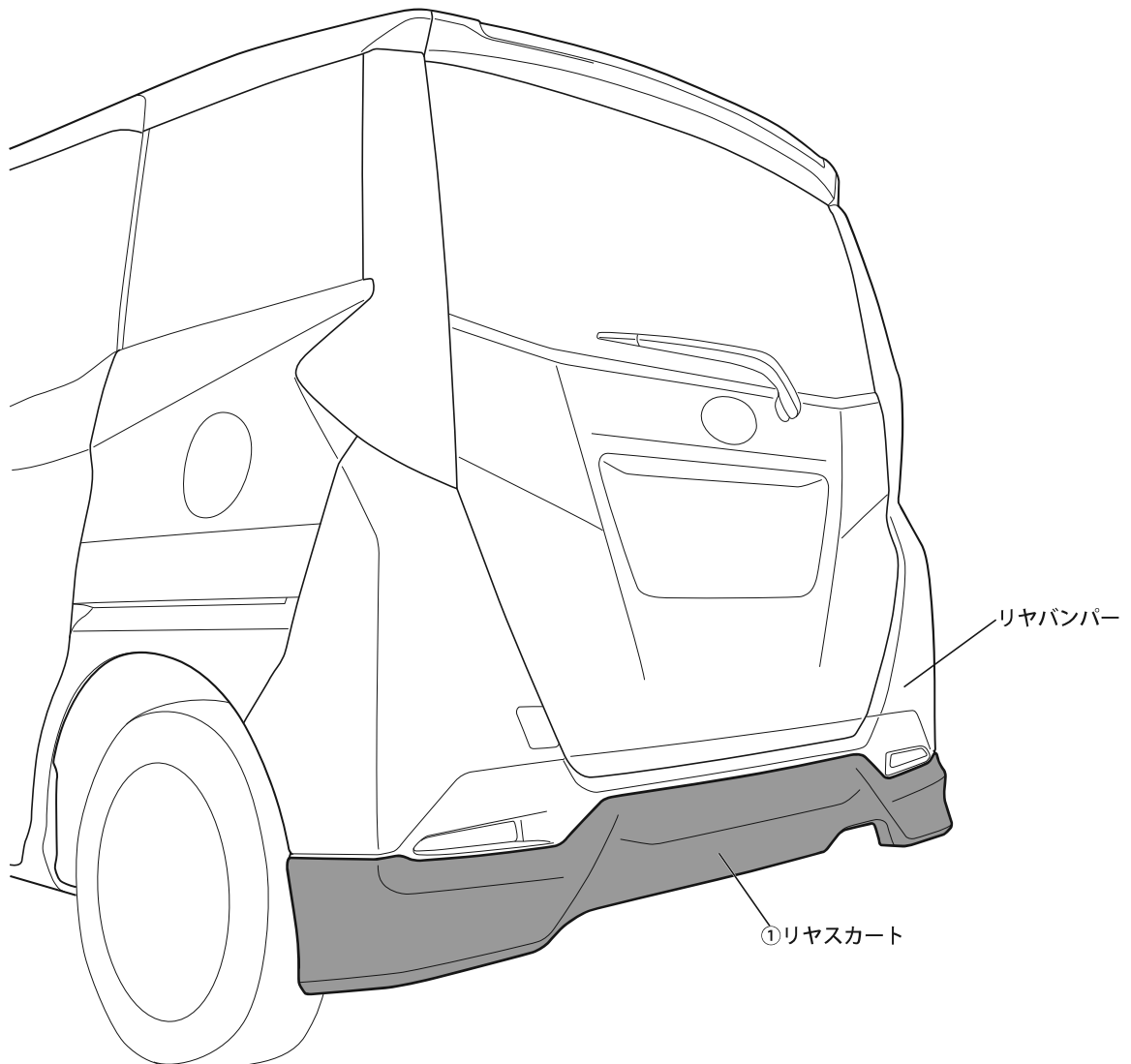
構成部品



| No. | 品名 | 個数 |
|-----|----------------|----|
| ① | リヤスカート | 1 |
| ② | トラスボルト (M4×15) | 6 |
| ③ | サイドステー L | 1 |
| ④ | サイドステー R | 1 |
| ⑤ | 延長プレート L | 1 |
| ⑥ | 延長プレート R | 1 |
| ⑦ | クリップ | 2 |
| ⑧ | 型紙 | 1 |
| ⑨ | 樹脂ワッシャー (調整用) | 6 |
| ⑩ | PACプライマー N-200 | 1 |
| ⑪ | 取付要領書 | 1 |

※MSD43-B1009(10)-** / D2641-52110-**
には⑪取付要領書は含まれません。

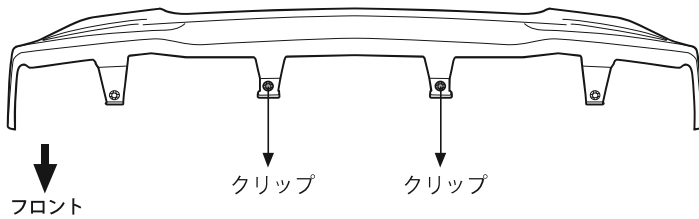
取付概要



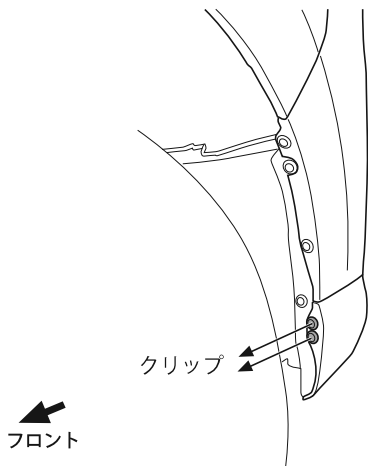
取付手順

1

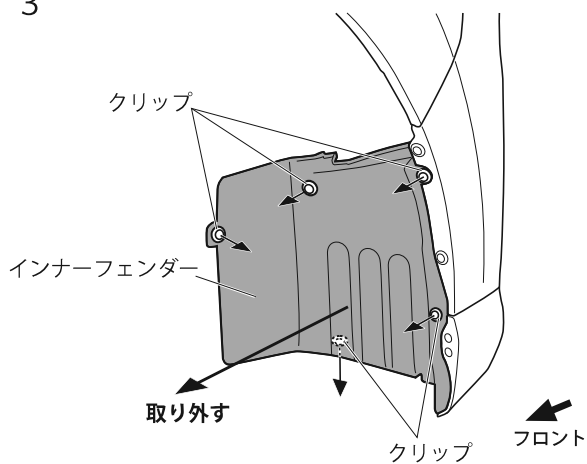
〈下面視〉



2



3



この取付手順は左側で示してあります。右側も同じ要領で作業してください。

1. リヤバンパー下面、左図位置のクリップを取り外す。(2ヶ所)

! 注意

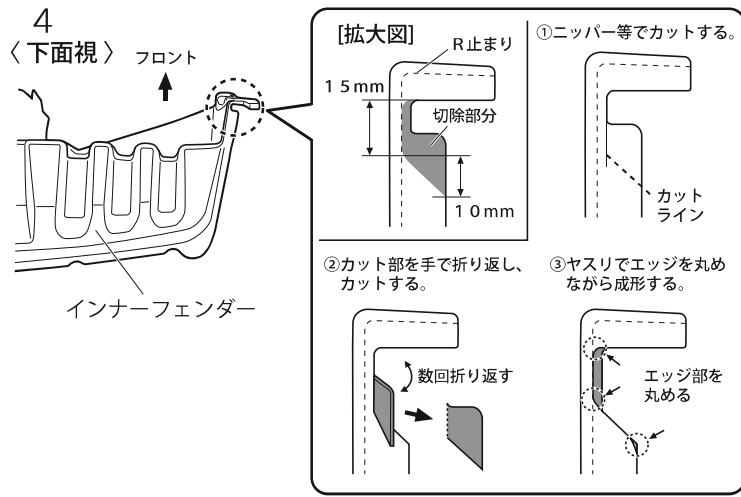
※取り外した車両クリップは①リヤスクートの取り付けには使用しません。

2. リヤバンパーのタイヤハウス部、左図位置のクリップを取り外す。(左右各2ヶ所)

! 注意

※取り外した車両クリップは①リヤスクートの取り付けには使用しません。

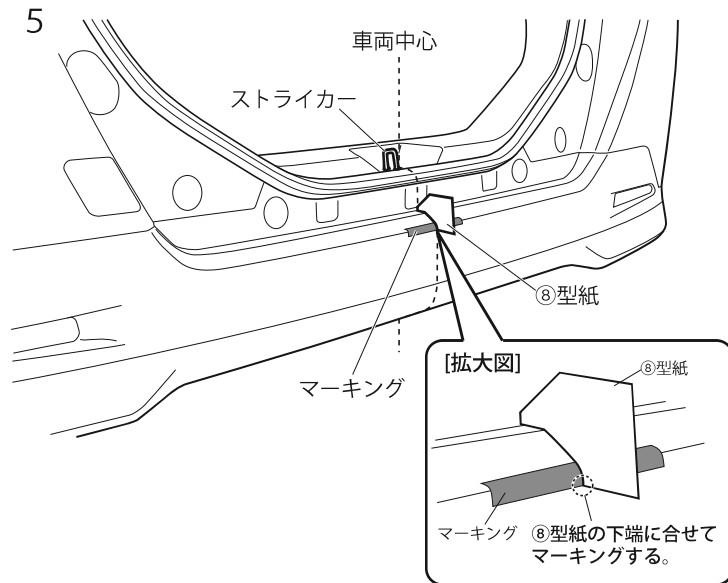
3. 修理書に従い、車両から左右のインナーフェンダーを取り外す。(クリップ5ヶ所)



4. 左図を参照し、インナーフェンダーの図示部を切除加工する。



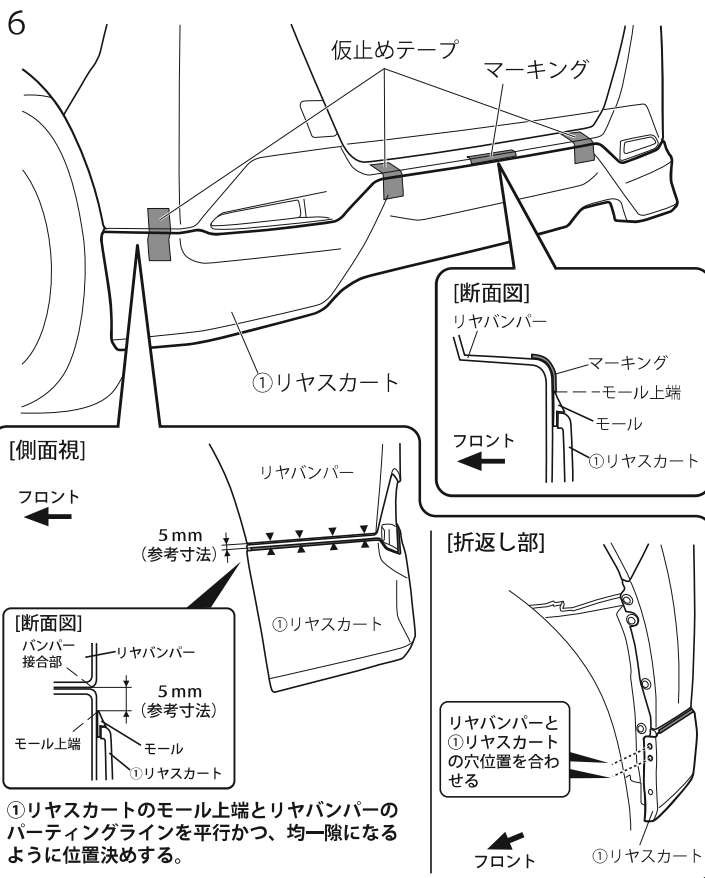
※ 切除加工後は、必ず切除部周囲のバリを取り除き、エッジ部をヤスリ等で丸める様に加工してください。



5. ⑧型紙を使用し、①リヤスカートの取り付け高さをマーキングする。



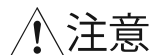
※ ストライカーを車両中心の基準にしてリヤバンパーに⑧型紙を当て、マスキングテープ等でマーキングしてください。



6. 左図に従い後面の取り付け高さマーキングに合わせながら①リヤスカートを車両に仮当てし、側面の取り付け高さを合わせ、ガムテープ等で仮固定する。

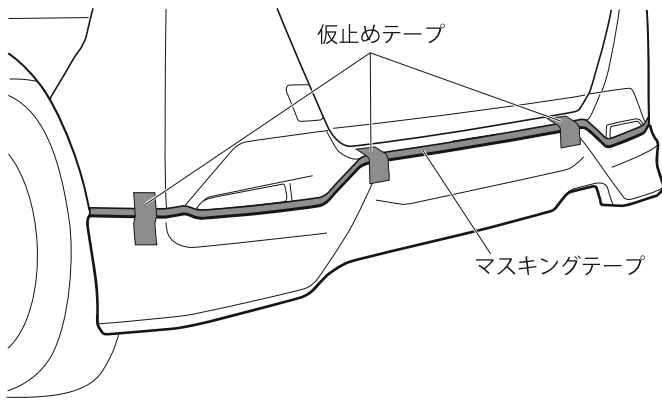


※ 6. で記したマーキング位置と①リヤスカートのモール上端を合わせてください。

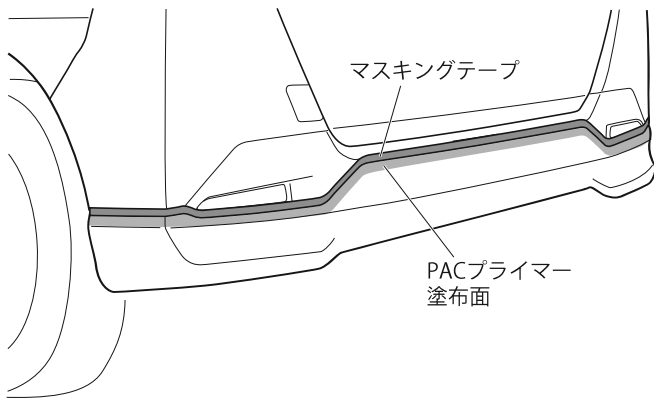


※ 側面取り付け高さは、左右同じになるように調整してください。

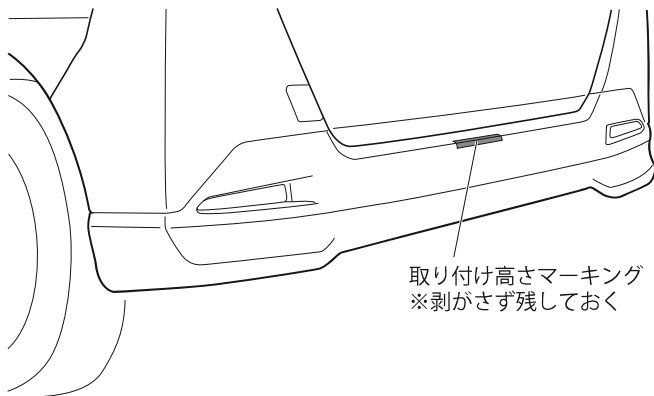
7



9

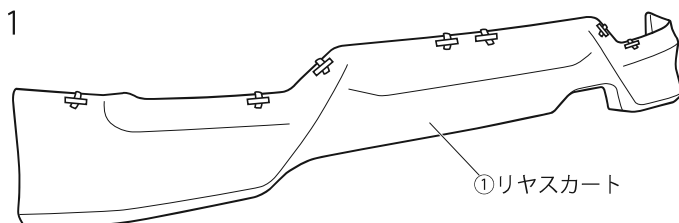


10



取り付け高さマーキング
※剥がさず残しておく

11



7. 仮当てした①リヤスカートの上端（モール貼り付け部はモール上端）に合わせて左図のようにマス킹テープを貼り付ける。

8. ①リヤスクートをリヤバンパーから取り外す。

9. リヤバンパー側の両面テープ貼付け面に⑩PACプライマー N-200 を塗布する。

⚠ 注意

PACプライマー N-200の使用について

- ※ 塗装面を黄変させますので、マス킹グを行いはみ出さないようにし、万が一はみ出した場合はアルコール等で確実に拭き取ってください。
- ※ 塗布後は常温で10分以上放置し、乾燥させてから作業に入ってください。
- ※ ボディーコートを処理されている車両はマス킹グをして両面テープ貼付け面を塗装用コンパウンドでコーティングを除去してください。

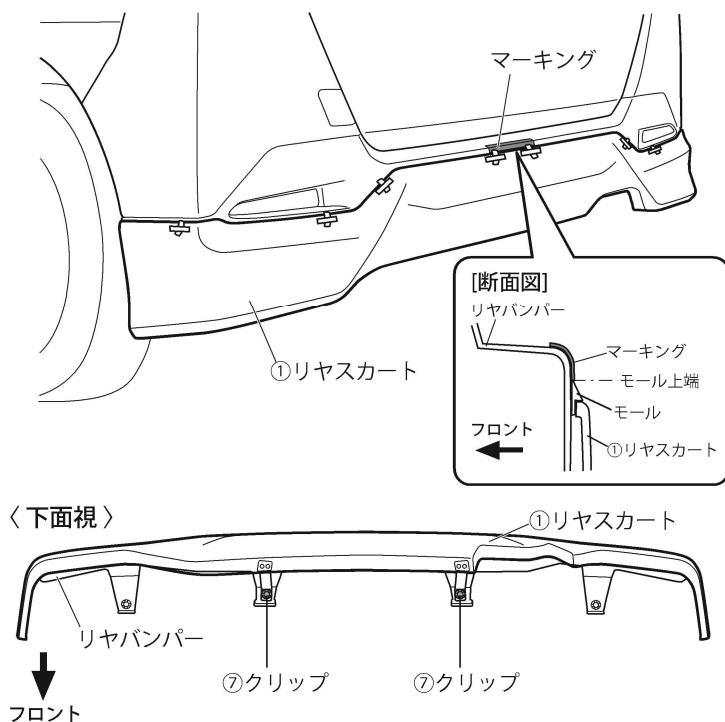
10. リヤバンパーに貼り付けたマス킹グテープを剥がす。

⚠ 注意

- ※ 取り付け高さマーキングは、ここでは剥がさずに残しておいてください。

11. 両面テープの離型紙をめくり、①リヤスカート表面に折り返してマス킹グテープで固定する。

12

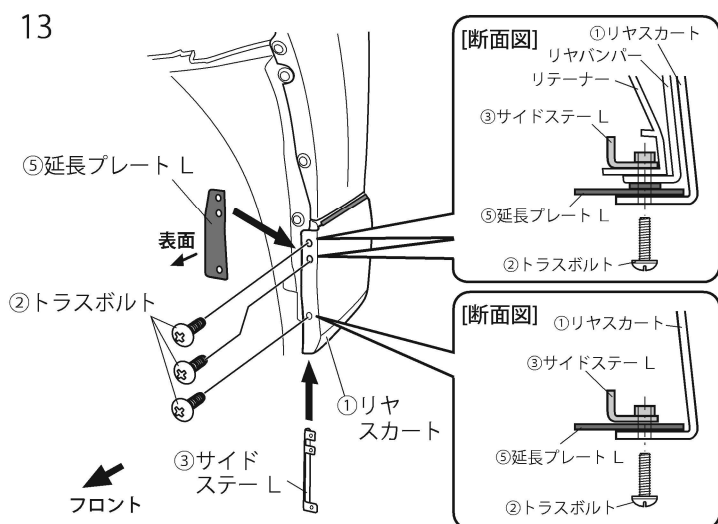


12. 左図に従い取り付け高さマーキングに合わせながら①リヤスカートを車両に仮当てし、下面を⑦クリップで固定する。

注意

※ 6. で記したマーキング位置と①リヤスカートのモール上端を合わせてください。

13

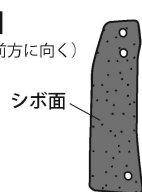


13. 左図に従い①リヤスカートのタイヤハウス折り返し部を⑤延長プレート L、③サイドステー L、②トラスボルトで仮固定する。

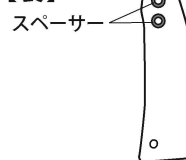
注意

※ ⑤延長プレートの向きに注意して取り付けてください。

【表】
(車両前方に向く)

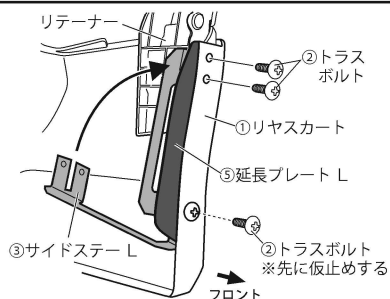


【裏】

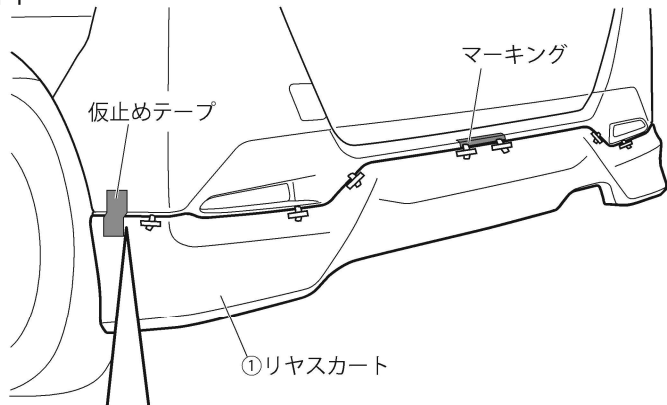


③ステー L 取付手順

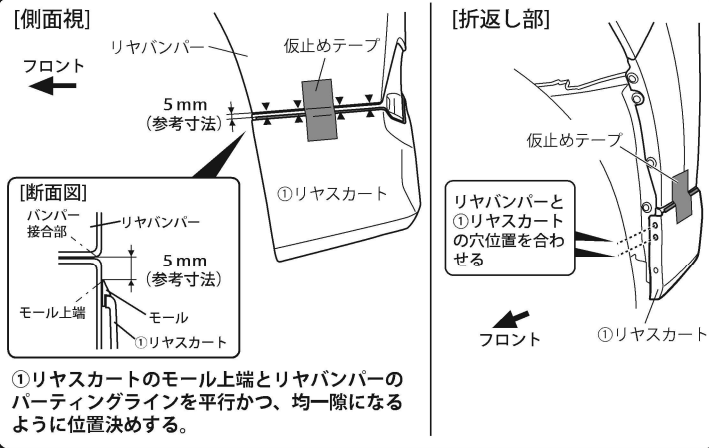
1. ⑤延長プレート Lを入れる。
2. ③サイドステー Lの下側を②トラスボルトで仮止めする。
3. ③サイドステー Lを起し、リテーナー内にはめる。
4. ③サイドステー Lの上2ヶ所を②トラスボルトで仮止めする。



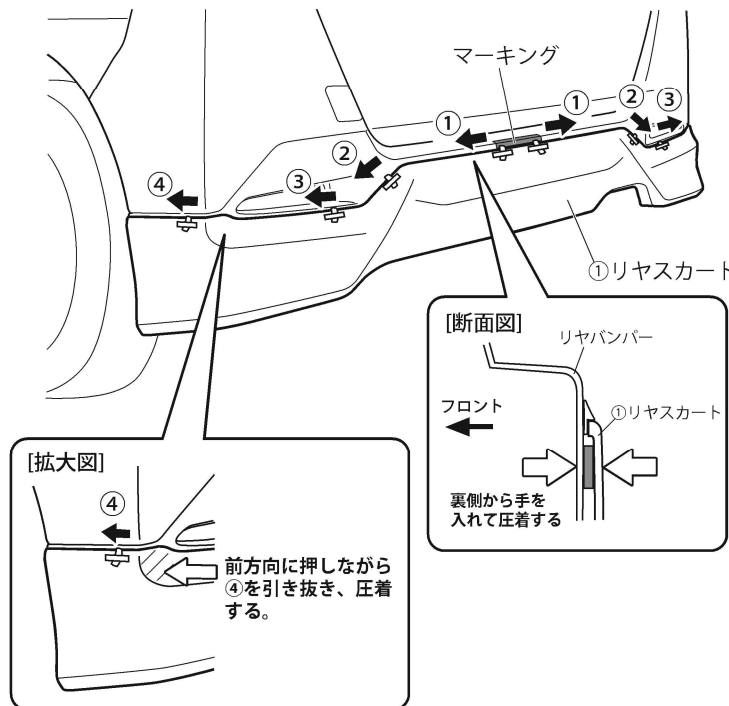
14



14. 側面の高さを合わせ、①リヤスカートがずれないようにガムテープ等で仮固定する。



15

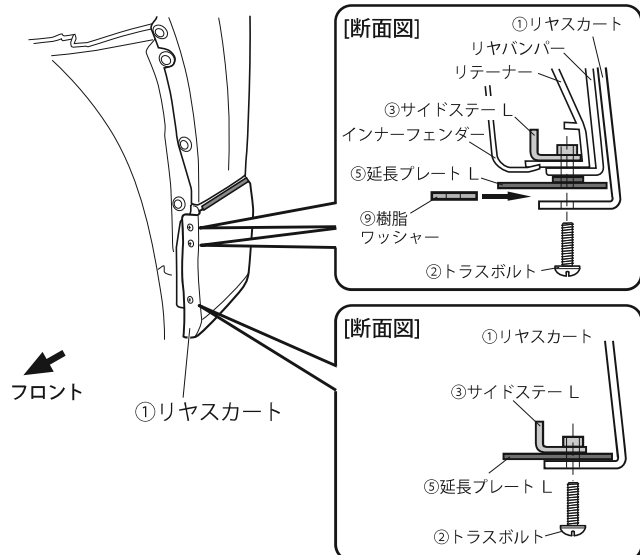


15. ①リヤスカートの位置を確認し、左図の順番で左右交互に離型紙を引き抜きながら49N (5kgf) 以上の力で圧着する。

⚠ 注意

必ず指定順番にて左右交互に離型紙を引き抜いてください。順番を誤ると両面テープの密着が悪くなり、浮き・はがれの原因となる可能性があります。裏側から手を入れてバンパーを押さえながら圧着してください。

16. 取り付け高さマーキングを剥がす。
17. 修理書に従い、左右のインナーフェンダーを車両に取り付ける。



18. 両面テープ貼付け後、3時間以上放置してから13. で仮締めしていた②トラスボルトを本締めする。

⚠ 注意

- ※①リヤスカートとバンパーとの隙が大きの場合等で調整が必要な場合は、⑨樹脂ワッシャーで隙間調整してください。（上側2ヶ所のみ）
また、締め付け過ぎないように、バンパー・製品の隙間を確認しながら作業してください。

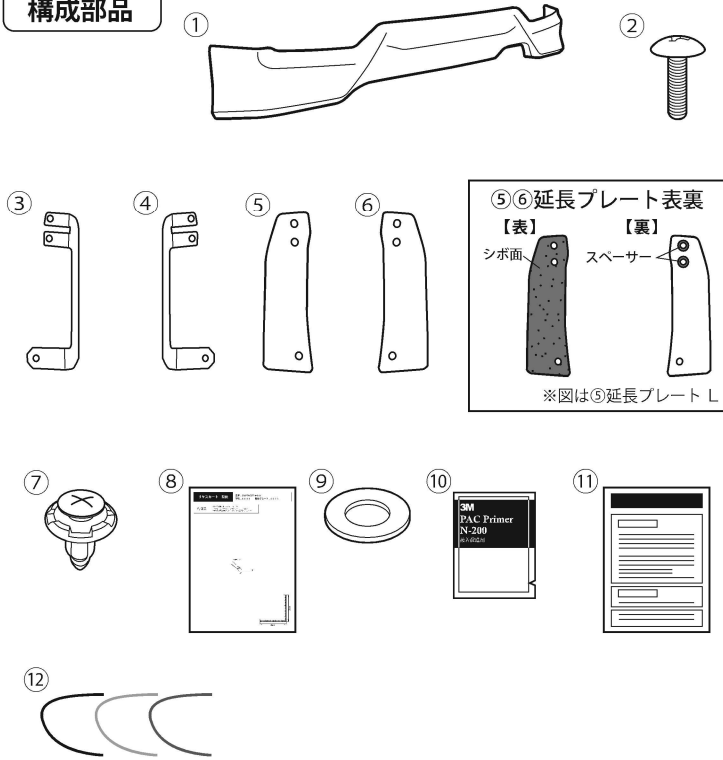
19. 取り付けがしっかりと行われているか確認し、両面テープ貼付け部を再圧着する。

リヤスカート

(品番：MSD43-B1009(10)-※※ / D2641-52110-※※ / D2641-64910-※※)

素地品の塗装手順

構成部品



| No. | 品名 | 個数 |
|-----|-------------------------------------------------------------------|----|
| ① | リヤスカート | 1 |
| ② | トラスボルト (M4×15) | 6 |
| ③ | サイドステー L | 1 |
| ④ | サイドステー R | 1 |
| ⑤ | 延長プレート L | 1 |
| ⑥ | 延長プレート R | 1 |
| ⑦ | クリップ | 2 |
| ⑧ | 型紙 | 1 |
| ⑨ | 樹脂ワッシャー (調整用) | 6 |
| ⑩ | PACプライマー N-200 | 1 |
| ⑪ | 取付要領書 ※MSD43-B1009(10)-※※ / D2641-52110-※※ には⑪取付要領書は含まれません。 | 1 |
| ⑫ | エンドモール (ブラック/ライトグレー/グレー) | 各1 |

⑫エンドモール推奨使用色

| 色名称 <色記号> | モール色 |
|------------------------------------------|--------|
| パールホワイトⅢ<W24> | ライトグレー |
| シルバーマタリック<S28> | グレー |
| ブラックマイカメタリック<X07> | ブラック |
| ファイアーオーツレッドメタリック<R67> | ブラック |
| コンバーノレッド<R75> | ブラック |
| ブラムブラウンクリスタルマイカ<R59> | ブラック |
| プリリアント銅パークリスタルマイカ<T33> | ブラック |
| ターコイズブルーマイカメタリック<B86> | グレー |
| レーザーブルークリスタルシャイン<B82> | ブラック |
| クールバイオレットクリスタルシャイン<P19> | ブラック |
| ブラックマイカメタリック<X07>×ファイアーオーツレッドメタリック<R67> | ブラック |
| ブラックマイカメタリック<X07>×パールホワイトⅢ<W24> | ライトグレー |
| ブラックマイカメタリック<X07>×ターコイズブルーマイカメタリック<B86> | グレー |
| ブラックマイカメタリック<X07>×プリリアント銅パークリスタルマイカ<T33> | ブラック |
| ブラックマイカメタリック<X07>×レーザーブルークリスタルシャイン<B82> | ブラック |

① 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行ってください。
2. プライマー塗装を行ってください。
3. 本体を塗装してください。

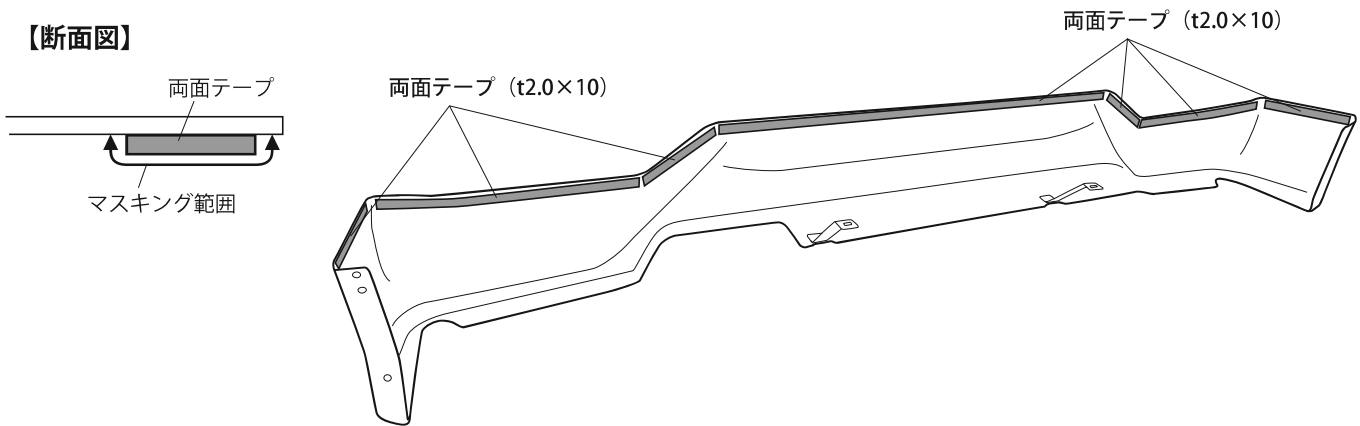
注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。

塗装乾燥温度は成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させてください。

変形しない様、形状を保持して乾燥してください。

4. 両面テープの幅に合わせてマスキングしてください。

【断面図】



② エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑫エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑩ PAC プライマー N-200 を塗布してください。⑩ PAC プライマー N-200 塗布後は、**常温で10分以上**放置し乾燥させてください。

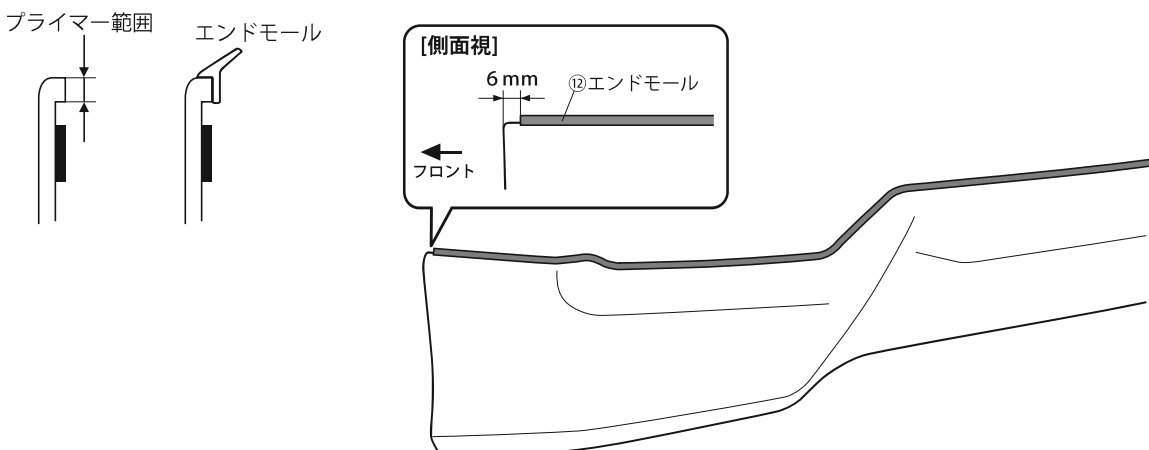
👉 アドバイス

PAC プライマー N-200はリヤスポイラー取り付け時に再使用します。

揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

PAC プライマー N-200 は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするかはみ出したプライマーはアルコール等で拭き取ってください。

2. 下図の位置に⑫エンドモールを貼り付けてください。
⑫エンドモールを貼り付ける際に追従しにくい箇所は貼り付け面に切込みを入れてください。



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

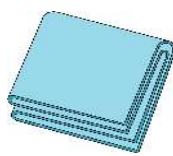


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

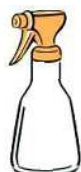
■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールドを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

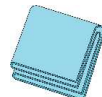
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



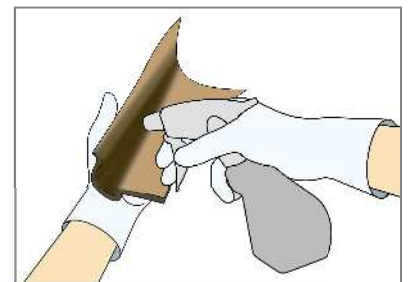
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

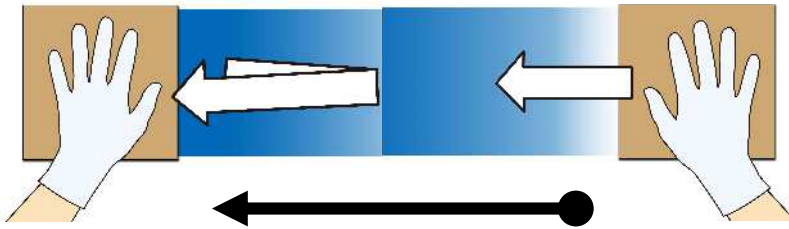
● 取付け面の脱脂作業を行う

① 【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

② 【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

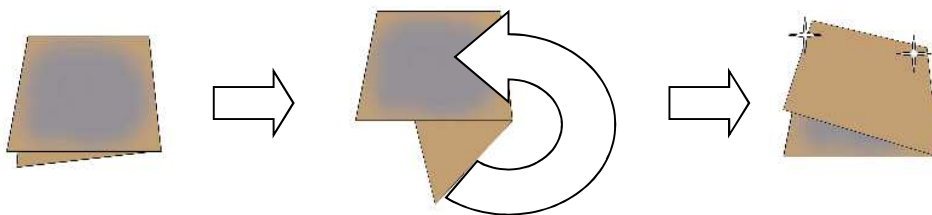
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。